

令和 7 年度第 3 回青梅市スポーツ振興審議会
会議録

日 時

令和 8 年 1 月 16 日(金) 午後 2 時 00 分～4 時 00 分

会 場

青梅市役所 3 階教育委員会会議室

出席者

(委 員)

山本会長、杉山副会長、神尾委員、渡邊委員、
市川委員、神野委員、早瀬委員、小花委員

(事務局)

橋本教育長、森田部長、中村課長、久保田主査、鈴木係長、白井主任

欠席者

(委 員)

木村委員

傍聴者 なし

進行：中村課長

傍聴および議事録について中村課長説明

中村課長が会議の成立を宣言し開会

1 あいさつ

橋本教育長、山本会長

2 諮問について

橋本教育長から山本会長へ諮問書を読み上げ渡す。

3 報告事項

事務局より説明

(1) スポーツ DAY 青梅 2 0 2 5 開催結果について (資料 1)

10 月 13 日(祝)に実施。e スポーツ体験やデフリンピック応援企画、エク
ストリームスポーツ体験を実施した。新たにスタンプラリーを導入し、満遍

なく様々な体験ができるよう工夫した。普段ほとんど運動しない人も20%参加しており、全体の満足度は95%だった。

(2) 第87回奥多摩溪谷駅伝競走大会開催結果について（資料2）

令和7年12月7日（日）開催。昨年度より多くのチームに出場いただいた。女子は1位および2位が大会新記録を樹立した。小中学生の部はフィニッシュを市役所正面ロータリーに変更したため観客が増え盛況だった。

(3) 第58回青梅マラソン大会の開催について（資料3）

令和8年2月15日（日）開催。前日は開会式および選手の受付を住友金属鉱山アリーナ青梅で実施。開会式には青梅市立第三中学校の吹奏楽や日本航空高等学校によるダンスステージ、青山学院大学陸上競技部の原監督等をお招きしたスペシャルトークショーを開催する。

当日は例年通り、10kmの部が9時30分、30kmの部が11時30分にスタートする。スターターは東京オリンピック卓球金メダリストの水谷隼さんに行っていただく。参加者は10km・30km・ジュニアロードレース全て昨年より増加しており、大会が安心安全で、盛り上がるよう、事務局で準備を進めている。

(4) 笹川スポーツ財団による施設ネットワーク実践研究事業について（資料4）

笹川スポーツ財団から打診があり、障害者スポーツ振興という観点から、障害のある方が、身近にスポーツを楽しむことができるために何ができるか、研究を進めており、今回青梅市と協働し、令和7年から8年にかけて実践研究をすることとなった。

障害者が、身近な地域でスポーツに親しめる社会の実現のために、施設に着目をして、その施設のネットワーク化を進めることで、障害のある方がより効果的に、スポーツに親しむ環境を作るべく、連携していく。

具体的にはハブ施設、サテライト施設、その他の社会資源で施設を階層に分け、市内では、住友金属鉱山アリーナ青梅をサテライト施設として活用する。現在2回の検討会議を開催しており、地域の強み弱みを整理し、スポーツの場を広く届けられるよう検討しており、令和8年度、実際にその対象となる方を選定して体験・体感してもらいながら、実践していく予定となっている。

(5) プロ野球独立リーグチーム「東京レジデンシャル」について（資料5）

BCリーグとは、「地域の方々に夢と感動を与える」をコンセプトにスター

トしたプロ野球独立リーグであり、東京都で初めて青梅市およびあきる野市を拠点とする球団「東京レジデンシャル」を設立した。

経緯としては、株式会社レジデンシャル不動産からBCリーグ加盟チームの設立に際し、青梅スタジアムの活用について相談があり、企業版ふるさと納税を活用した施設の改修等協議し、令和7年12月に「スポーツを通じた地域の活性化」「青少年の健全育成および市民の健康増進」等を目的とした包括連携協定を株式会社レジデンシャル不動産・株式会社東京レジデンシャルと締結した。今後、青梅スタジアムの整備を実施する予定である。

[質疑応答]

(1) 笹川スポーツ財団による施設ネットワーク実践研究事業について（資料4）

委員：特別支援学校の活用は考えているか。

事務局：青梅市の前に江戸川区で特別支援学校を主体として実践研究がされていた。様々なモデル事業を試行することから、市内特別支援学校は、今回の検討委員の中には入っていないが、地域資源の一つとして、今後の活用については検討していく。

委員：障害者スポーツの施設ネットワークに必要なハード面の部分で、青梅市が費用を負担しバリアフリー化を進めることはあるのか。

事務局：ハード面の課題は認識しているが、その地域ごとの課題を他のソフト面でカバーしながら、スポーツを楽しみ、継続してやっていただくことを視点に取り組んでいるため、現時点ではハード面の改修等については検討していない。

委員：障害者団体の間で考え方の違いがあるため、ネットワーク化を進めるうえで様々な対応策を検討したほうがいい。

事務局：検討会を経て課題を改めて認識できたため、学びながら体制を整えていきたい。

(2) プロ野球独立リーグチーム「東京レジデンシャル」について（資料5）について

委員：正式加盟はいつか。

事務局：令和9年度の予定。

委員：現在青梅スタジアムを利用しているチームは使用できなくなるのか。

事務局：軟式野球連盟やリトルシニアで使用されているが、BCリーグでの使用は月1～3回の想定となるため、市民の活動の妨げとはならないと思われる。

委員：窓口となる市の部署は。

事務局：現状、企画部企画政策課および生涯学習部スポーツ推進課となっている。

委員：青梅スタジアムの立地が駅と離れているため駐車場等はどうするのか。

事務局：課題として受け止めており、整備については協議中のため検討する。

4 諮問事項

青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助について（別紙1・別紙2）

事務局より説明

各種援助申請一覧について

〔質疑応答〕

委員：昨年の大会の費用を今年度の5月に援助決定した選手が、また今年の大会分を今回申請しているが問題ないのか。

事務局：4月1日～3月31日の大会について翌年の4月末まで申請が可能。

委員：援助 15,000 円とあるが上限か。

事務局：上限で、交通費や宿泊費が 15,000 円未満の場合は実費を援助する。

全ての申請について「適」として答申

5 その他

次回の審議会は5月中旬ごろ開催予定。

※ 参考資料

青梅市スポーツ振興審議会条例（参考1）

青梅市スポーツ振興基金条例（参考2）

青梅市スポーツ振興基金条例施行規則（参考3）

青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰基準（参考４）

青梅市スポーツ振興審議会の会議の公開に関する取扱要綱（参考５）

～閉会～